



LIPPS

2025年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年7月15日



東

上場会社名 株式会社リップス

上場取引所

コード番号 373A

URL <https://lipps.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 的場 隆光

問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 上原 大輔 (TEL) 03(6804)3101

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第3四半期の業績(2024年9月1日~2025年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第3四半期	3,351	—	763	—	761	—	494	—
2024年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第3四半期	197.85	—
2024年8月期第3四半期	—	—

(注) 1. 2024年8月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年8月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率、ならびに2025年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当社は、2025年3月15日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 2025年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2025年8月期第3四半期会計期間末において非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2025年8月期第3四半期	3,822	—	3,316	—	86.8
2024年8月期	3,252	—	2,823	—	86.7

(参考) 自己資本 2025年8月期第3四半期 3,316百万円 2024年8月期 2,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—	0.00	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,408	17.2	910	26.4	906	26.0	629	48.7	250.78

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2. 当社は、2025年3月15日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っております。2025年8月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して算定しております。
3. 1株当たり当期純利益については、公募株式数(50,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年8月期3Q	2,500,000株	2024年8月期	2,500,000株
② 期末自己株式数	2025年8月期3Q	—株	2024年8月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年8月期3Q	2,500,000株	2024年8月期3Q	—株

(注) 1. 2024年8月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年8月期第3四半期の期中平均株式数は記載しておりません。

2. 当社は、2025年3月15日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っており、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大が消費を下支えするなか、緩やかな回復基調で推移しました。一方で先行きについては、物価上昇の継続に伴う消費マインドの低下や、米国をはじめとする各国の通商政策、欧米における高水準の金利継続などにより依然として不透明な状況が続くと予想されます。

このような状況下で当社におきましては、ヘアワックスシリーズを中心に小売店への配荷が拡大したことに加え、Amazonを中心とするEC通販サイトにおいて「スタイリストシャンプー&トリートメント」などの出荷が引き続き伸長したことにより、第3四半期累計期間としては過去最高の売上高を更新しました。

この結果、当第3四半期累計期間における当社の売上高は3,351,007千円、営業利益は763,589千円、経常利益は761,992千円、四半期純利益は494,634千円となりました。

なお、当第3四半期累計期間におけるセグメントの業績は、次のとおりとなります。

(商品事業)

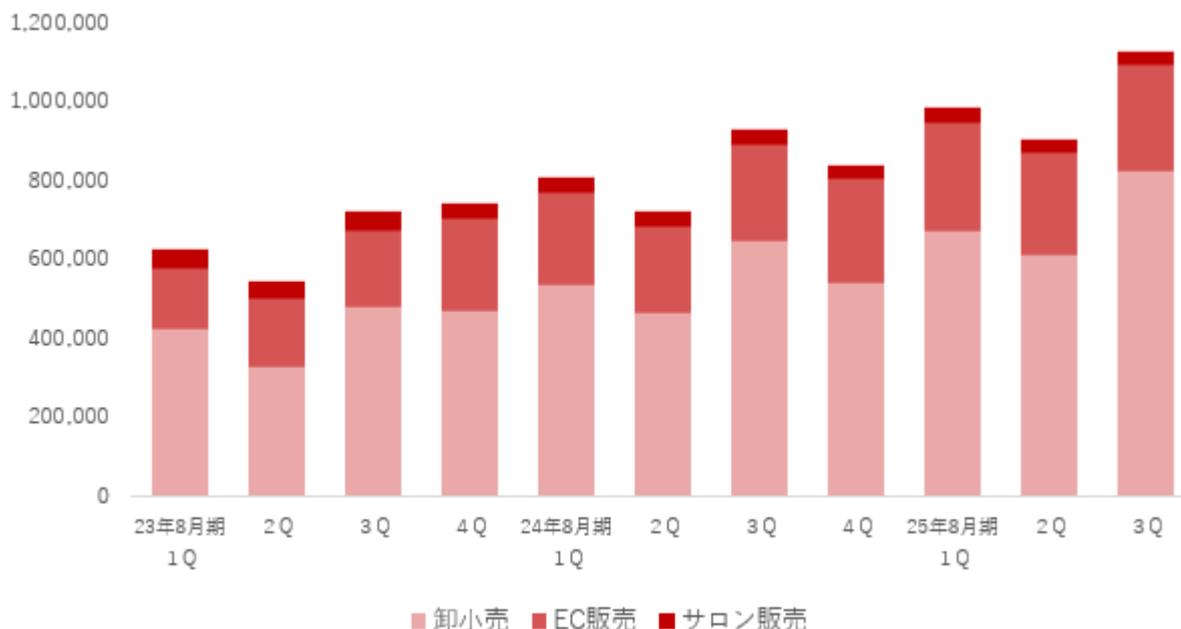
商品事業は、9月に「スタイリストヘアマスク」、10月に「ハンドスタイリングクリーム」及び「スタイリングバーム」などヘアケア、スキンケア、スタイリング剤の各カテゴリに新商品を投入し、商品ラインナップの拡充を図っております。

また、スキンケア、メイクアップブランドである「LIPPS BOY(リップスボーイ)」の初の旗艦店「LIPPS The Flagship~The Standard of Men's Beauty~」を渋谷にオープンし、商品の体験を通じたフェイススタイリングの提案を発信する取り組みも行ってまいります。

さらにEC通販サイトにおいては新たなユーザーの獲得を企図し、2024年9月に楽天市場に公式ショップを開設、2025年4月にはZOZOTOWNにLIPPSストアを開設しました。

なお、2023年8月期以降の四半期ごとの商品売上の販売チャネル別推移は次のとおりとなります。

(単位：千円)



この結果、当第3四半期累計期間における商品事業のセグメント売上高は3,022,975百万円、セグメント利益は639,293百万円となりました。

(サロンフランチャイズ事業)

サロンフランチャイズ事業は、近年ヘアサロン業界ではシェアサロンの普及やフリーランスの増加により、人材の流動化が進んでおり、安定的な人材確保と育成が大きな課題となっております。こうした市場環境を踏まえ、当社ではスタイリストの早期デビュー及び戦力化を目的に、アカデミー機能(教育・研修)及び集客の強化に注力し

ております。その取り組みの一環として、技術習得の効率化と教育の質の向上を図るべく、カット技法を3Dで再現したVR映像学習アプリを開発し、フランチャイズ店舗の従業員に向けて提供しております。

この結果、当第3四半期累計期間におけるサロンフランチャイズ事業のセグメント売上高は328,031百万円、セグメント利益は124,296百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は3,822,233千円となり、前事業年度末と比べて569,355千円増加いたしました。流動資産は3,683,601千円となり624,975千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が369,241千円増加したこと、及び業容拡大に伴い売掛金が169,462千円増加したこと、さらに出荷量の増加に対応するため在庫を積み増したことによって商品及び製品が161,918千円増加したことによるものです。

また固定資産は138,632千円となり55,619千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が50,411千円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は506,188千円となり、前事業年度末と比べて76,741千円増加いたしました。これは主に未払金が63,117千円増加したことに対して、買掛金が19,511千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は3,316,044千円となり、前事業年度末と比べて492,614千円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金が494,634千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の業績予想については、2025年6月30日付で公表いたしました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」の内容から変更はありません。

なお、本資料に記載した業績予想等は、本資料発表日現在にて入手可能な情報をもとに、当社が合理的と判断した一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因の変化等によって予想数値とは大きく異なる可能性があることにご留意ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,864,803	2,234,044
売掛金	550,996	720,459
商品及び製品	444,621	606,540
原材料及び貯蔵品	100,135	87,723
前払費用	59,672	30,512
その他	38,397	4,320
流動資産合計	3,058,625	3,683,601
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	33,210	33,770
減価償却累計額	△1,580	△3,173
建物附属設備 (純額)	31,629	30,596
工具、器具及び備品	27,634	29,245
減価償却累計額	△15,858	△20,219
工具、器具及び備品 (純額)	11,775	9,025
有形固定資産合計	43,405	39,622
無形固定資産		
商標権	6,165	5,585
ソフトウェア	18,715	23,954
その他	632	632
無形固定資産合計	25,512	30,172
投資その他の資産		
出資金	10	10
長期前払費用	1,319	3,444
繰延税金資産	91,552	41,141
その他	32,450	24,241
投資その他の資産合計	125,333	68,837
固定資産合計	194,251	138,632
資産合計	3,252,877	3,822,233

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,538	40,027
未払金	146,171	209,289
未払費用	17,166	22,535
未払法人税等	99,321	108,240
契約負債	337	99
預り金	8,241	8,803
賞与引当金	35,427	33,678
その他	36,741	59,815
流動負債合計	402,947	482,488
固定負債		
預り保証金	26,500	23,700
固定負債合計	26,500	23,700
負債合計	429,447	506,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,513,000	1,513,000
利益剰余金	1,208,410	1,703,044
株主資本合計	2,821,410	3,316,044
新株予約権	2,020	—
純資産合計	2,823,430	3,316,044
負債純資産合計	3,252,877	3,822,233

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
売上高	3,351,007
売上原価	1,409,303
売上総利益	1,941,704
販売費及び一般管理費	1,178,114
営業利益	763,589
営業外収益	
受取利息	5
違約金収入	6,263
補助金収入	3,500
その他	943
営業外収益合計	10,713
営業外費用	
上場関連費用	12,178
固定資産除却損	131
営業外費用合計	12,309
経常利益	761,992
特別利益	
新株予約権戻入益	2,020
特別利益合計	2,020
税引前四半期純利益	764,013
法人税、住民税及び事業税	218,967
法人税等調整額	50,411
法人税等合計	269,378
四半期純利益	494,634

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による四半期財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当第3四半期累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	商品事業	サロンフランチャイズ事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,022,975	328,031	3,351,007
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	3,022,975	328,031	3,351,007
セグメント利益	639,293	124,296	763,589

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	18,536 千円

(重要な後発事象)

(公募による新株式の発行)

当社は、2025年6月30日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。

この上場にあたり、2025年5月29日及び2025年6月12日開催の臨時取締役会において、次のとおり新株式の発行を決議し、2025年6月29日に払込が完了しました。

(1) 募集方法：一般募集（ブックビルディング方式による募集）

(2) 発行する株式の種類及び数：普通株式 50,000株

(3) 発行価格：1株につき3,130円

(4) 引受価額：1株につき2,879.6円

なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。

(5) 払込金額：1株につき2,635円

この金額は会社法上の払込金額であり、2025年6月12日開催の臨時取締役会において決定された金額であります。

(6) 資本組入額：1株につき1,439.8円

(7) 発行価額の総額：131,750千円

この金額は会社法上の払込金額の総額であります。

(8) 払込金額の総額：143,980千円

(9) 資本組入額の総額：71,990千円

(10) 払込期日：2025年6月29日

(11) 資金の使途：優秀な人材の確保のための採用費及び人員増加に伴う人件費並びにクリエイティブ制作のためのマーケティング費用